

# ※掲載内容はサンプルです

最終更新日：2022/12

項番	大項目	中項目	小項目	検証内容	OS version	判定 ○×	判定日	
1-1-1	port基本動作試験	1/100/1000BASE-T no-auto-nego 動作試験	1/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-1-2			100/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-1-3			1000/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-2-1		10/100/1000BASE-T auto-nego 動作試験	auto - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-2-2			10/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-2-3			100/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-2-4			1000/full - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-3-1		2500/5000/10000BASE-T 動作試験	2500 - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-3-2			5000 - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-3-3			10000 - auto	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14	
1-3-1		1G/100G 動作試験		1G	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	10/14
1-3-2				100G	それぞれ個別に設定し設定した値で通信できることを確認 (port statusと隣接間ping)	21.1R1.11	○	4/1
1-4-1		Link up/down hold time 動作試験		Link down hold-timeの設定	ケーブル抜き後、hold-time時間後にlinkがdownすることを確認	21.1R1.11	○	10/14
1-4-2				Link up hold-timeの設定	ケーブル接続後、hold-time時間後にlinkがupすることを確認	21.1R1.11	○	10/14
1-5-1		Jumbo-frame 動作試験		MTUサイズの設定	MTU 9216を設定し9216bytes frameがtransitされることを確認	21.1R1.11	○	10/15
1-5-2					MTU以上のframeが破棄されることを確認 (MTU1518 : frame-size 9216)	21.1R1.11	○	10/15
1-6		Auto MDIX	AUTO MDIXの確認	MDIとMDIXの識別が自動でできることを確認	21.1R1.11	○	10/15	
2-1-1	CLI基本動作試験	ログイン制御	console/telnet/sshアクセス制御 正規ユーザ	Locallyに設定したusername、passwordでのloginできること権限を確認、syslogを確認	21.1R1.11	○	1/21	
2-1-2			console/telnet/sshアクセス制御 不正ユーザ	不正なユーザによるログインが不可であることを確認、syslogを確認	21.1R1.11	○	1/21	
2-1-3			telnet/sshアクセス制御 connection limit	Connection limitを設定し、動作することを確認	21.1R1.11	○	1/28	
2-2-1		SNMP		接続元制限	SNMPの接続元を制限するフィルタを設定し、SNMPアクセス制限されること アクセス不可時のsyslogを確認	21.1R1.11	○	1/28
2-2-2				コミュニティ制限	SNMPの接続元を制限するフィルタを設定し、SNMPアクセス制限されること アクセス不可時のsyslogを確認	21.1R1.11	○	1/28
2-3-1		Trap		trap server	trap serverを複数指定できること(4つ指定しメッセージが飛ぶことを確認)	21.1R1.11	○	1/31
2-3-2				trap-version	trap versionをv1/v2どちらかに指定した場合に指定したversionのみSNMPが出力されることを確認	21.1R1.11	○	1/31
2-3-3				source-ip指定	trapのsource-ipが指定したアドレスで出力されることを確認	21.1R1.11	○	1/31
2-4-1		Syslog		syslog server	syslog serverを複数指定できること(4つ指定しメッセージが飛ぶことを確認)	21.1R1.11	○	12/9
2-4-2				time-format	time-formatでmillisecondとyearが設定でき動作すること	21.1R1.11	○	12/9
2-4-3				source-ip指定	syslogのsource-ipが指定したアドレスで出力されることを確認	21.1R1.11	○	12/9
2-5-1		JUNOS install試験		JUNOS変更	FTP上のOSをdownloadしInstallできることを確認	21.1R1.11	○	1/31
2-5-2				外部メディア上のOSからInstallできることを確認	21.1R1.11	○	2/2	
2-6-1	Config save/restore/commit/rollback		Config保存 Local	config設定時の保存方法、保存場所等を確認 (commit、save)	21.1R1.11	○	1/26	
2-6-2			Config保存 FTP	本装置で設定したconfigをFTPサーバへ保存できることを確認	21.1R1.11	○	1/28	
2-6-3			Configリストア Local	Locallyに保存したconfigのリストア方法を確認 (rollback、load)	21.1R1.11	○	1/26	
2-6-4			Configリストア FTP	FTPサーバで保存したconfigをリストアできることを確認	21.1R1.11	○	1/28	
2-7	reboot/halt		再起動、shutdown	コマンドよりルータのリポートやシャットダウンができることを確認	21.1R1.11	○	2/2	
2-8	traceoption		traceoptionの設定	設定可能でlogが出力されることを確認 (各protocol設定時にtraceoptionも設定しlogを取得しておく)	21.1R1.11	○	1/26	
2-9	monitor機能		monitor機能の確認	モニター可能であることを確認 (tcpdump、message、stats)	21.1R1.11	○	2/2	
2-10	help機能		online document	onlineドキュメントが参照できることを確認 (help topic、help reference)	21.1R1.11	○	1/28	
2-11	Time zone		Time Zoneの設定	Time zoneがJSTに設定できることを確認	21.1R1.11	○	1/28	
2-12	NTP		NTPの設定	NTPの設定が可能であること、Serverと同期が取れることを確認	21.1R1.11	○	1/28	